

Styling Kit FD-02

リアウイング MFD2600

取扱説明書

この度は、オートエクゼ スタylingキット FD-02をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輻に組み付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

⚠ 注意事項 (作業前に 取付作業の方へ)

1. 製品到着時すぐに開封していただき、輸送中における製品の破損や付属品の欠品がないかを必ず確認をしてください。
2. 製品の適合車種と製品の部品番号が一致しているか必ずご確認ください。適合車種以外への取付は絶対に行わないでください。
3. 製品の通常の取付作業に関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験されている方、または当該経験者監督の下で作業が可能な方を原則とします。
4. 純正部品の取外しおよび取付作業はマツダ株式会社発行の整備書を参照に作業を行ってください。

⚠ 注意事項 (作業中に 取付作業の方へ)

1. 製品の改造、加工は絶対に行わないでください。このことにより発生した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。
2. 製品は塗装前に必ず装着確認を行ってください。塗装後のクレーム、返品には一切応じかねますので予めご了承ください。
3. 目に見えない塗料や研磨粉が目、のど、体内に入ると人体の障害につながる危険がありますので、作業中は必ず保護服・保護マスクなどを着用してください。
4. 製品のメインウイングおよびウイングベースは製造過程において製品表面にプリスター(気泡)やピンホールが発生する場合があります。この場合ポリエステルパテなどを使用し修正後サフェーサーで下地処理を施してください。
5. サフェーサーや塗装を乾燥させる際は自然乾燥にて行ってください。電熱器などで熱を加えると製品の変形や表面のプリスター(気泡)発生につながりますので絶対に行わないでください。
6. 車輻本体の鉄材部位を穴開け加工した箇所は、錆び発生防止のため必ずタッチアップペイントなどで防錆処理を行ってください。
7. ウイングステーをリフトゲートに装着する際は、雨水浸入防止のため必ずボルト穴部に液状ガスケットを塗布してから装着してください。
8. ウイングステーはアルミ製です。ウイングステーをウイングステーボルトで固定する際はネジ山破損防止のため、防錆潤滑剤を少量塗布してから締付け作業を行ってください。
9. 取付作業終了後リフトゲートを開閉する場合は、ラジオアンテナを必ず下げてから開閉してください。ラジオアンテナが伸びた状態でリフトゲートを開閉させると、アンテナポールがメインウイングに干渉し、アンテナポールが折損する場合があります。

⚠ 注意事項 (使用者の方へ)

1. 走行中に異音、振動などの異常を感じた場合は、直ちに安全な場所に車輻を停車し点検を行ってください。
2. 製品本来の使用用途以外には絶対に使用しないでください。本来の使用用途以外でのご使用による事故・怪我等は、当社は一切その責任、補償を負いませんので予めご了承ください。
3. リフトゲートを開閉する場合は、ラジオアンテナを必ず下げてから開閉してください。ラジオアンテナが伸びた状態でリフトゲートを開閉させると、アンテナポールがメインウイングに干渉し、アンテナポールが折損する場合があります。
4. 製品を清掃する際は、アルコール、有機溶剤、酸性およびアルカリ性の洗剤は使用しないでください。
5. 製品を廃棄する場合は、一般ゴミと一緒に廃棄せず、産業廃棄物処理業者へ依頼してください。

部品番号 : MFD2600
適合車種 : RX-7 (FD3S) 全車

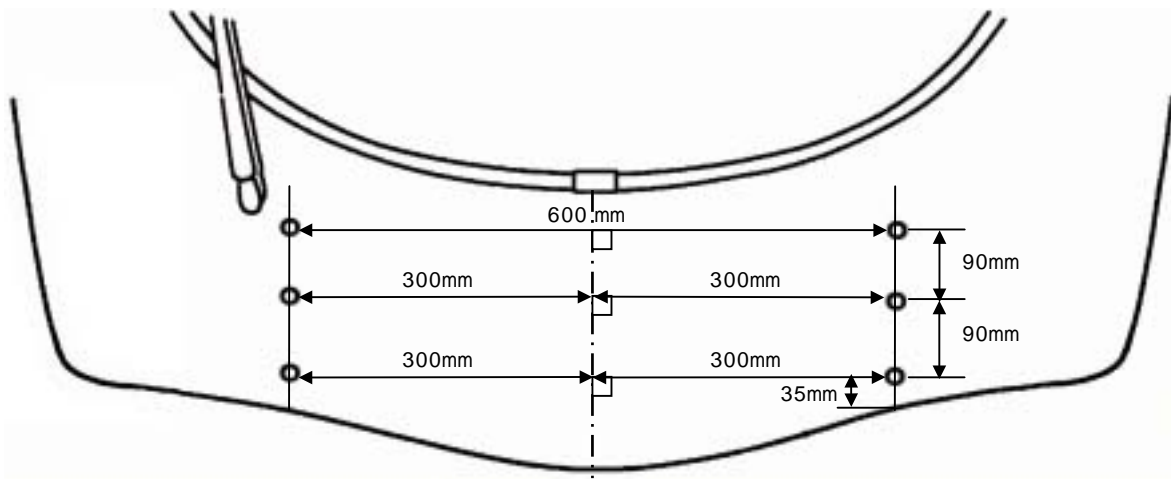
構成部品

No.	部品名称	仕様	数量	No.	部品名称	仕様	数量
	メインウイング	FRP製 要塗装	1		ボルト	M6×20	4
	アッパーマウントステー	SUS304ステンレス製	2		ボルト	M6×40	2
	ウイングステー	アルミ製 黒アルマイト仕上	2		ワッシャー	M6	6
	ウイングベース (RH)	ウレタン性 要塗装	1		キャップボルト	M5×12 ステンレス製	4
	ウイングベース (LH)	ウレタン性 要塗装	1		キャップボルト	M5×20 ステンレス製	4
	ブロックスペーサー	アルミ製 t=20mm	2		スプリングワッシャー	M5 ステンレス製	4
	穴埋めシールシート	塩化ビニール製	1		キャップ付袋ナット	M5 ステンレス製	4

取付要領

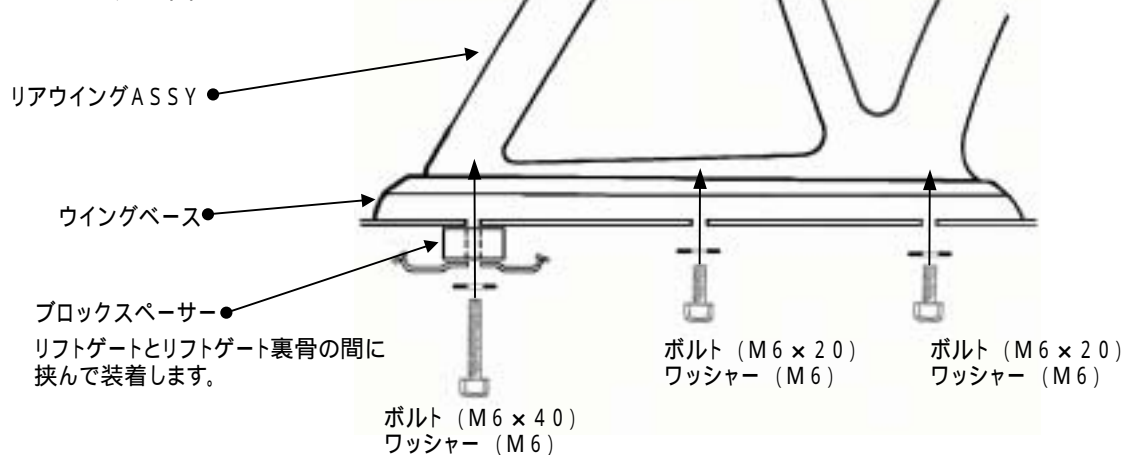
1. マツダ(株)発行の整備書を参照に、リフトゲートロアートリムを車輛より取外します。
2. 純正リアスポイラーを車輛より取外します。
3. リフトゲートの純正リアスポイラー取付部をきれいに清掃・脱脂した後、穴埋めシールシートを使用してリフトゲート表側から純正リアスポイラーの取付穴を塞ぎます。(穴埋めシールシートをボディ色に塗装するとより完成度が高まります。)
4. メインウイングに アッパーマウントステーを キャップボルト(M5×12)を使用して左右とも取付けます。
5. 4.にて完成したメインウイングASSYに ウイングステーを キャップボルト、スプリングワッシャー、キャップ付袋ナットを使用して左右とも仮組みします。
6. 下図を参照にリフトゲートにマーキングし、ドリルで3mmの穴開加工します。

穴開加工寸法



7. 5.にて仮組みしたリアウイングASSYを車輛にあてがい、穴開加工部位の穴位置がずれていないかを確認した後、ドリルで5mm 8mmと順に穴を拡大し仕上げます。穴開加工後はバリ等をきれいに取り除いた後、タッチアップペイントなどで防錆処理します。
8. 下図を参照に、各部のフィッティングを確認しながらリアウイングASSYを車輛に取付けます。その際、リフトゲート表側には ウイングベース (RH)と ウイングベース (LH)を、リフトゲート裏側には ブロックスペーサーをそれぞれ挟み、ボルト、ボルト、ワッシャーを使用して取付けます。その際、各6箇所のボルト穴は雨水浸入防止のため、必ず液状ガスケットなどを塗布してから、リアウイングASSYを車輛に装着します。各ボルトを通し終えたら本締めを行い作業完了です。

リアウイング組立図



- 上段 (ローダウンフォース): 通常走行時はこの位置でご使用ください。高速安定性と操縦性のバランスが最も優れています。
- 中段 (ミドルダウンフォース): ワインディング走行時またはサーキット走行時などに適しています。
- 下段 (ハイダウンフォース): 低中速域のサーキットやジムカーナなど、強力なリアダウンフォースが必要な走行に適しています。